

決算発表説明資料

(平成30年3月期第3四半期)

- 連結決算（経営成績）
 - 工作機械関連事業部門
 - 受注動向
 - 輸送機器関連事業部門
 - 財政状態



連結決算（経営成績）



【前年同期比較】

（単位：百万円）

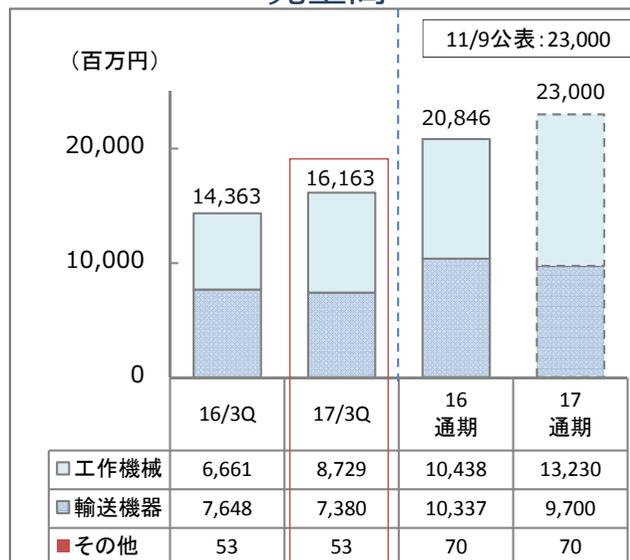
【受注 好調継続】

【第3四半期黒字化達成 通期黒字回復へ】

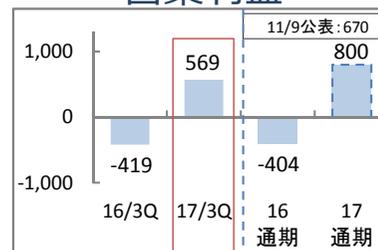
売上高につきましては、工作機械関連事業部門の国内外における好調な受注を背景に、第3四半期累計売上高は16,163百万円（前年同期比12.5%増）の増収、通期売上高も23,000百万円（前期比10.3%増）の増収を予想しております。

営業利益につきましては、第3四半期累計で約10億円、通期で約12億円の収益改善により、第3四半期累計営業利益は569百万円（前年同期は419百万円の損失）と黒字化を達成、通期営業利益は800百万円（前期は404百万円の損失）と黒字回復する見込みです。

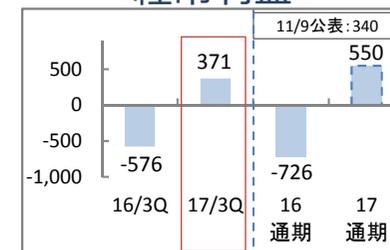
売上高



営業利益



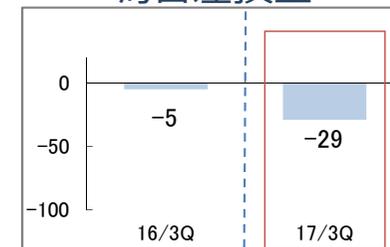
経常利益



当期純利益



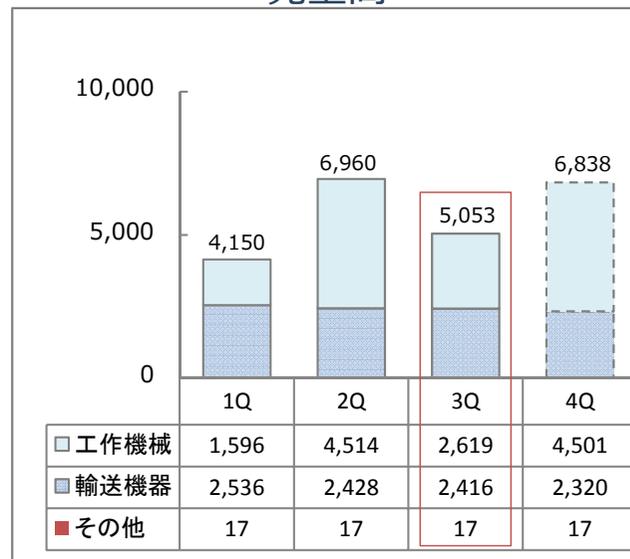
為替差損益



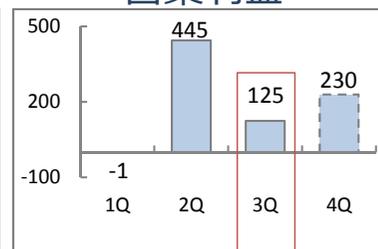
※17/通期は予測

【四半期比較】

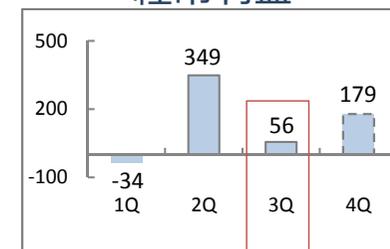
売上高



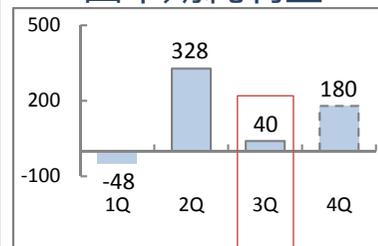
営業利益



経常利益



四半期純利益



※4Qは予測

工作機械関連事業部門（経営成績）

【前年同期比較】

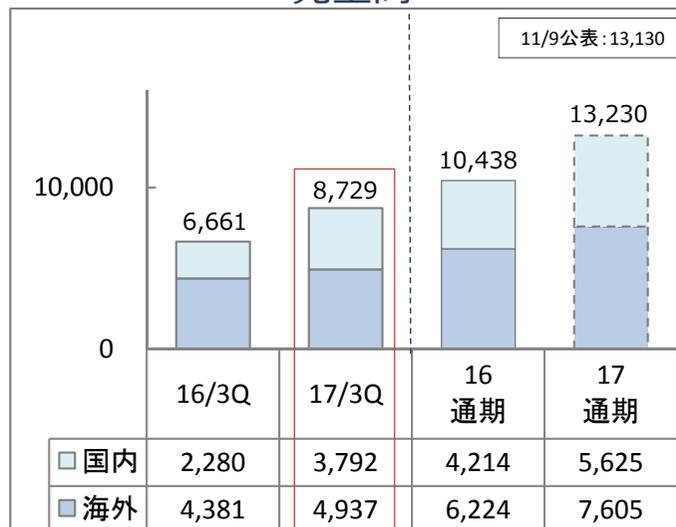
（単位：百万円）

●第3四半期累計／通期 業績概要

売上高につきましては、受注が好調を維持しているのを背景に、国内・海外ともに売上を伸ばし、第3四半期累計売上高8,729百万円（前年同期比31.0%増）、通期売上高13,230百万円（前期比26.7%増）を予想しております。

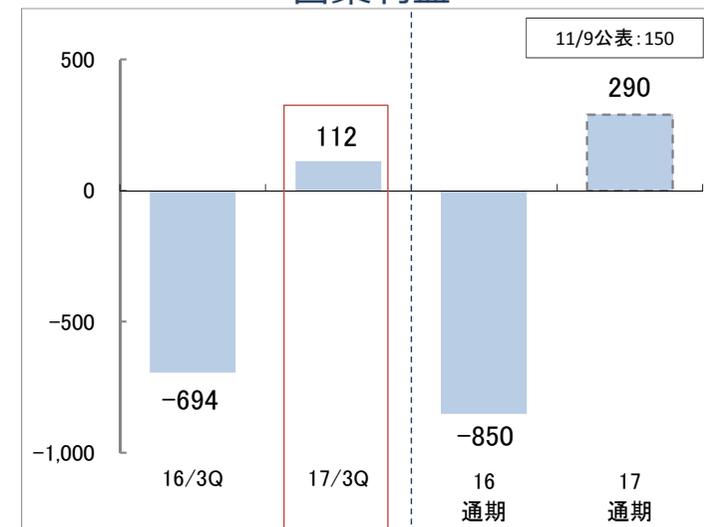
営業利益につきましては、現地法人の売上拡大に加え、本社におけるシステム案件やレーザー案件の売上増および原価低減施策が奏功し、第3四半期累計は約8億円の利益回復となる営業利益112百万円（前年同期は694百万円の損失）、通期は約11億円の利益回復となる営業利益290百万円（前期は850百万円の赤字）と黒字回復を予想しております。

売上高



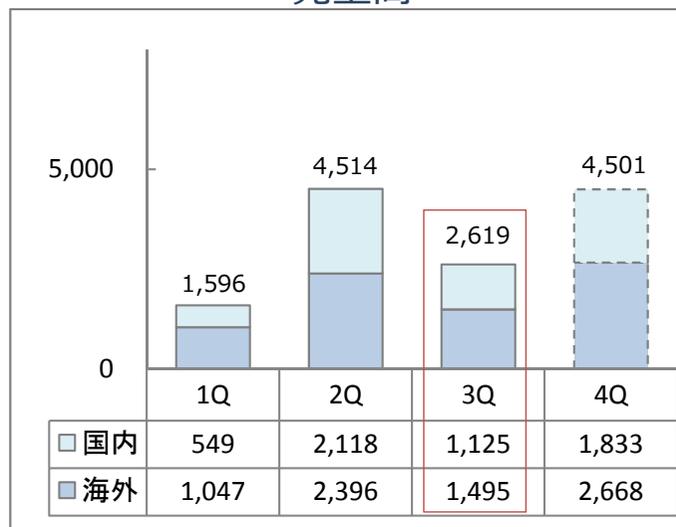
※17/通期は予測

営業利益



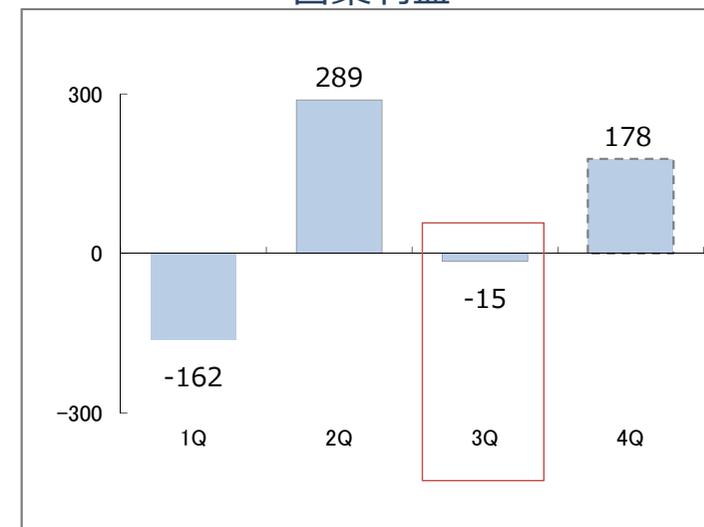
【四半期比較】

売上高



※4Qは予測

営業利益

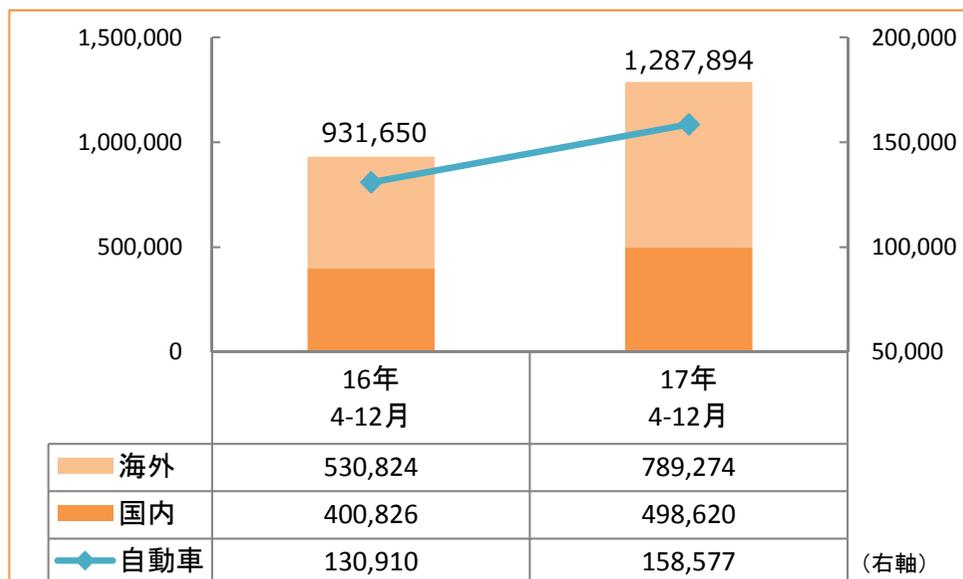


【四半期推移】

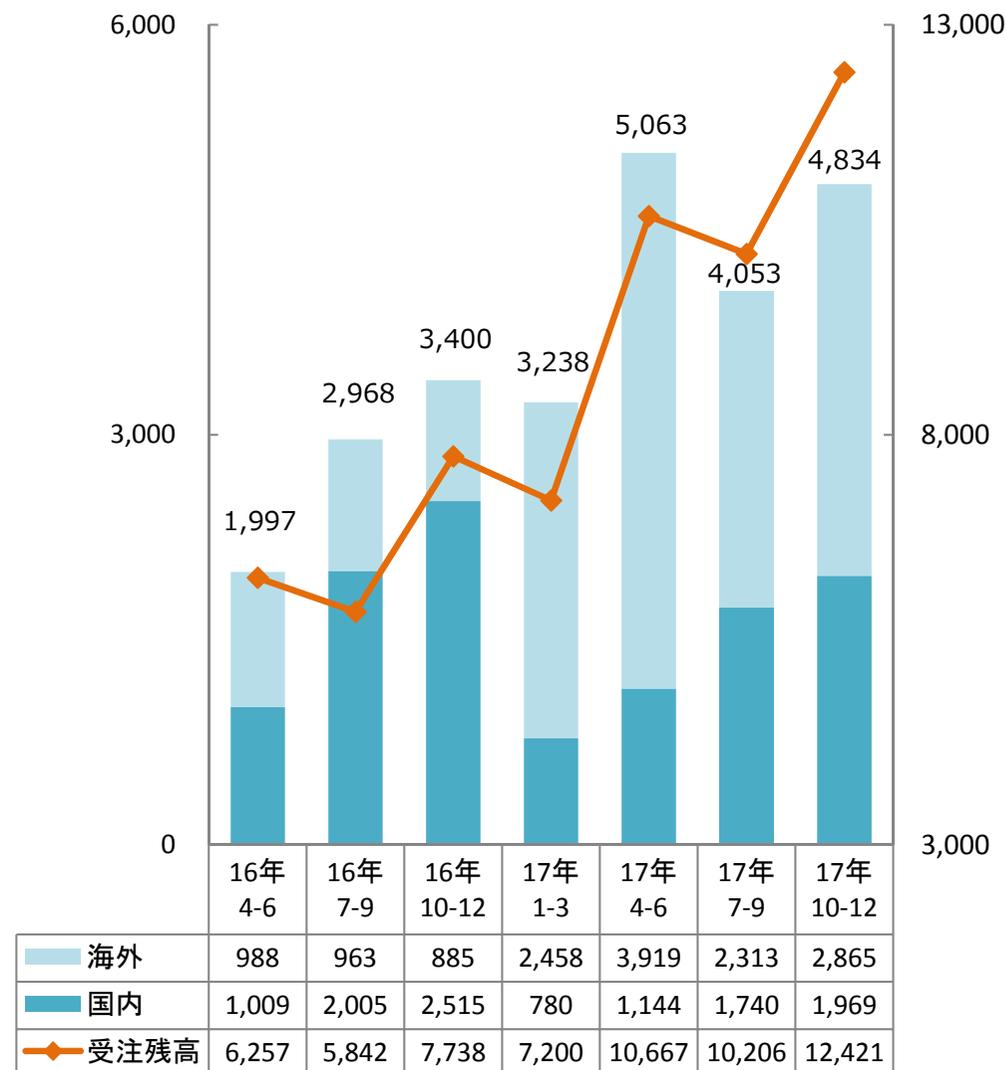
中国、北米を中心に海外受注は好調を維持、国内受注も増加傾向で推移しており、第3Q累積期間(4-12月)受注高は130億円を超える高い水準となりました。4Q(1月-3月)も引き続き、より多くの受注確保に努めてまいります。

また、引合数を維持するための「営業力強化」、受注率を高めるための「提案力強化」を継続して図ってまいります。

☆日本工作機械工業会受注推移



☆当社の連結受注高及び連結受注残高推移



輸送機器関連事業部門 (経営成績)

(単位: 百万円)

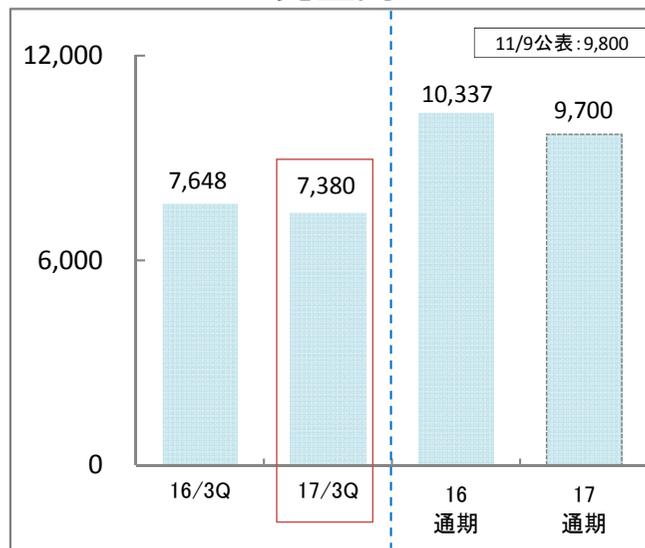
【前年同期比較】

● 第3四半期累計／通期 業績概要

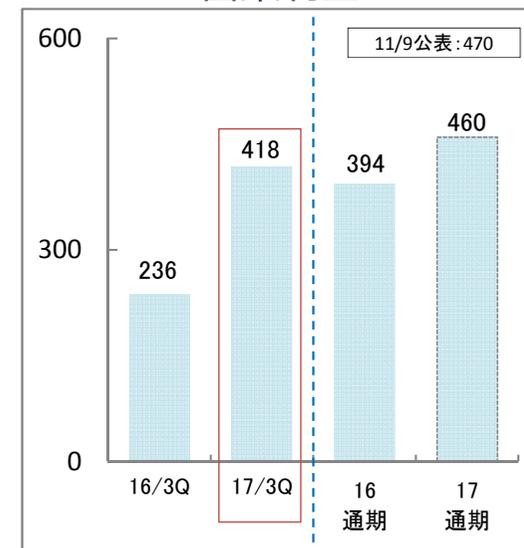
売上高につきましては、ベトナム現地法人の生産は着実に増えておりますが、国内は減収となり、第3四半期累計売上高7,380百万円（前年同期比3.5%減）、通期売上高9,700百万円（前期比6.2%減）を予想しております。

営業利益につきましては、ベトナム現地法人の売上増に加え、国内のコスト圧縮施策の効果により、第3四半期累計営業利益418百万円（前年同期比76.6%増）、通期営業利益は460百万円（前期比16.6%増）を予想しております。

売上高



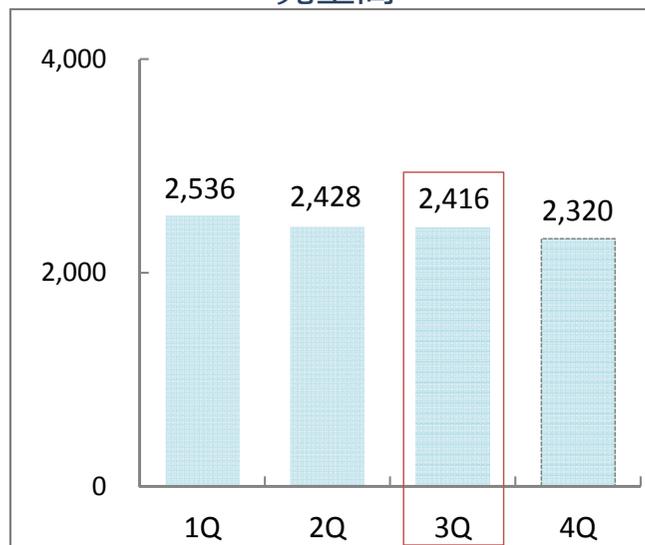
営業利益



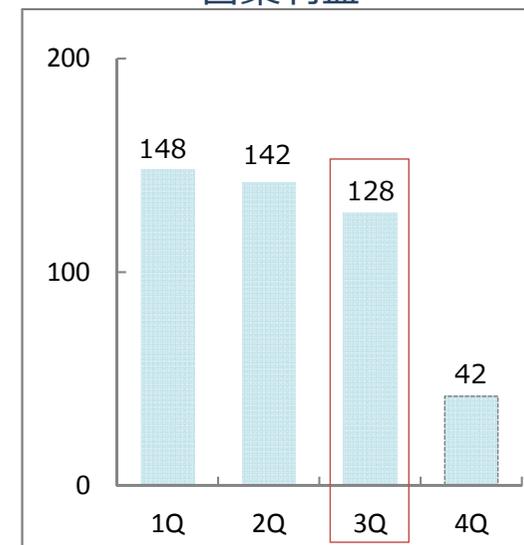
※17/通期は予測

【四半期比較】

売上高



営業利益



※4Qは予測

財政状態

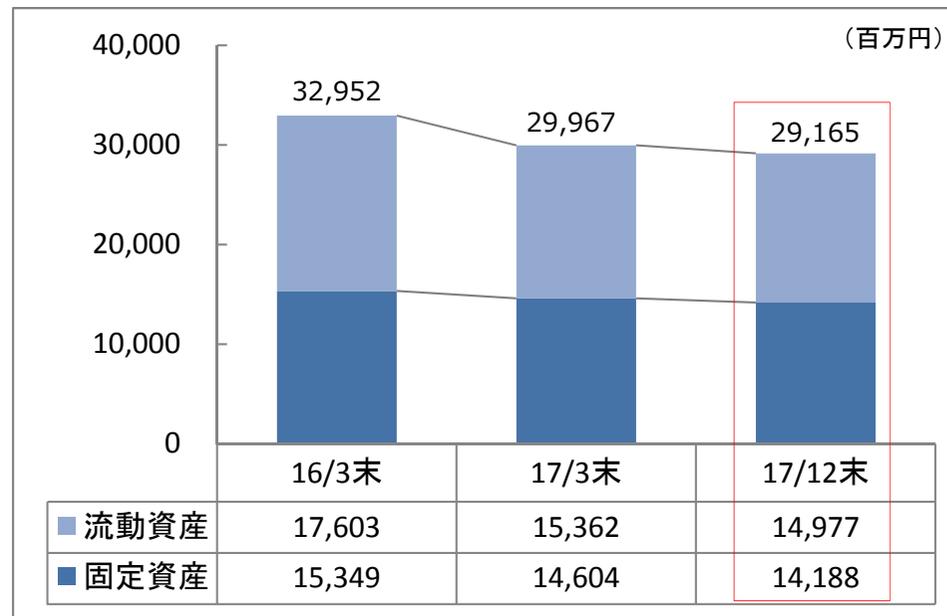
● 財政状態

運転資金の圧縮により、バランスシート改善を継続しており、借入金、総資産は減少しております。

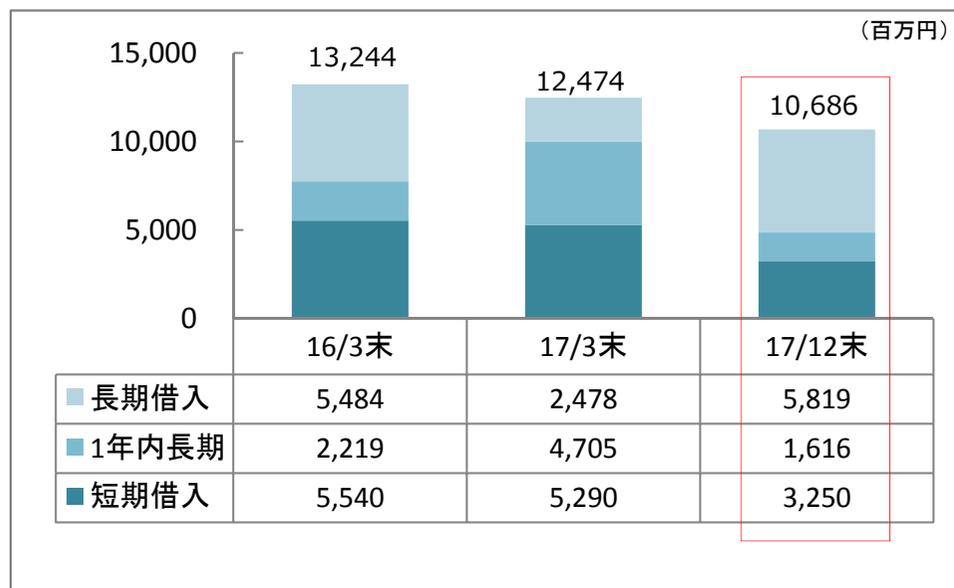
(借入金17/3末比 ▲1,788百万円)

(総資産17/3末比 ▲802百万円)

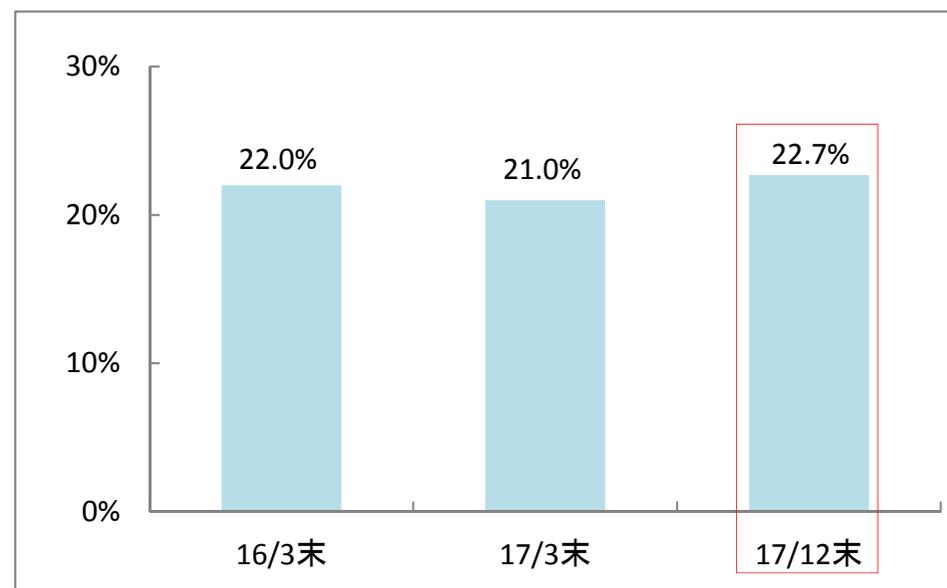
総資産



借入金



自己資本比率



注記事項

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。